

News release (日本語版仮訳)

スイス・リーの2019年第1四半期の純利益は、大規模な損失で一部相殺されるものの、好調な生命・医療再保険事業と非常に堅調な投資の成績を反映

- 2019年第1四半期のグループの純利益は、好調な生命・医療再保険事業と非常に堅調な投資の成績を反映して4億2,900万米ドルとなったが、大規模な損失が損害保険事業に影響
- 損害再保険事業は大規模な損失の影響を受け、純利益1,300万米ドル、株主資本利益率(ROE)は0.6%
- 今年度の損害再保険事業の更改は、料率設定環境の改善と大型取引に支えられて堅調
- 生命・医療再保険事業は、第1四半期に過去最高の純利益3億2,800万米ドル、ROE19.6%を計上
- コーポレート・ソリューションズの純損失は5,500万米ドル
- ライフ・キャピタルは、3億米ドルの堅調な総キャッシュフローを計上
- 投資収益率(ROI)は4.5%、直接利回りは2.9%と非常に堅調
- 上限買付価格10億スイス・フランの自己株式公開買付の第一ランシェを2019年5月6日に開始

チューリッヒ、2019年5月3日 – スイス・リーは、2019年第1四半期の純利益を4億2,900万米ドルと報告しました。この業績は好調な生命・医療再保険事業と非常に堅調な投資成績を反映したのですが、その一部は大規模な保険金支払の損失の影響を受けて相殺されています。正味既経過保険料は5.5%増の88億米ドルとなり、全事業部門の成長を反映しています。ROIは2018年第1四半期の2.2%から4.5%に上昇し、グループROEは5.9%でした。スイス・リーは、上限買付価格10億スイス・フランの自己株式公開買付の第一ランシェを2019年5月6日に開始する予定しており、これはグループの力強い資本基盤と財務柔軟性の高さを示すものです。

スイス・リー・グループの最高経営責任者であるクリスチャン・ムーメンターラーは次のように述べています。「第1四半期の損害再保険事業は大規模損害の影響を受けましたが、生命・医療再保険事業は着実に好調を維持しており、当社の多角的なビジネス・モデルの強みを示すことができたのではないかと考えております。また、損失の影響を受けた市場で特に、全体的な損害保険の料率設定環境の改善が加速していることが明るい材料となっています。更改の時期に当たってこうした前向きな流れが続いていることで、当社は見通しに関しても自信を持っています。」

Media Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 7171


New York
Telephone +1 914 828 6511

Singapore
Telephone +65 6232 3302

Investor Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 4444

Swiss Re Ltd
Mythenquai 50/60
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999

www.swissre.com
 @SwissRe

第1四半期の純利益は、好調な生命・医療再保険事業成績と非常に堅調な投資成績を反映したが、その一部は大規模な損失で相殺された

2019年第1四半期のグループの純利益は、好調な生命・医療再保険事業成績と非常に堅調な投資成績を反映して4億2,900万米ドルとなりました。大規模自然災害と人災による保険金支払には、オーストラリアのクイーンズランド州北部の洪水、モザンビークのサイクロン「Idai(アイダイ)」、エチオピア航空の墜落事故およびその後のボーイング737Max機の飛行停止などが含まれます。さらに、前年度後半の災害(主に、台風21号)に関する多額の保険金支払も、この四半期の実績に悪影響を与えています。

スイス・リーの投資ポートフォリオのROIは、株式の大幅な評価益を背景に、4.5%と非常に堅調でした。これに対し、前年同期のROIは2.2%でした。債券の直接利回りは2.9%でした。

2019年第1四半期の正味既経過保険料は前年比5.5%増の88億米ドルとなり、全事業部門の成長を反映しています。為替変動の影響を除いた場合、成長率は9.4%となります。

スイス・リー・グループの最高財務責任者(CFO)であるジョン・デシーは次のように述べています。「2019年第1四半期の保険料の成長と非常に堅調な投資実績を喜ばしく思います。当社は業界トップクラスの資本基盤を維持することにより、収益性の高い成長を支える高い財務柔軟性を備えています。来月曜日、当社は余剰資本を株主の皆様へ還元するために自己株式公開買付の第一ランシェを開始します。これは、当社の資本管理の優先順位に明確に沿った取り組みです。」

損害再保険事業は大規模な取引に支えられ保険料が増加したものの、大規模な損失による保険金支払の影響を受けた

損害再保険事業の2019年第1四半期の純利益は1,300万米ドル、コンバインド・レシオは110.3%となり、大規模な損失による保険金支払の影響を受けました。この保険金支払には、オーストラリアのクイーンズランド州北部の洪水による2億1,000万米ドル、エチオピア航空の墜落事故およびその後のボーイング737Max機の飛行停止による約9,000万米ドルなどが含まれます。今期の業績は、主に台風21号の損失見積が増加したことによる業界全体の損失の重大な増加に伴う、前年度の災害からの影響を大きく受けています。

正味既経過保険料収入は、大規模取引に支えられて10.9%増の42億米ドルとなりました。

4月の更改により損害再保険事業のポートフォリオは改善

4月の更改において、全体の特約保険料ボリュームは18%増となり、適正料率は1%改善されました。これは、好条件が多く保険料ボリュームは10%増、適正料率は7%の改善となり、スイス・リーの立場を強化して成功裏に終了した日本の更改も反映しています。

生命・医療再保険事業の業績は好調

生命・医療再保険事業は、過去最高の第1四半期純利益となる3億2,800万米ドル、ROE19.6%を計上しました。この事業部門の優れた実績は、積極的なポートフォリオ管理、米州において予想通りに死亡率が推移したこと、および非常に堅調な投資実績にけん引されました。

正味既経過保険料は6.0%減の31億米ドルとなり、不利な為替変動とライフ・キャピタルとのグループ内の再々保険契約の終了が影響しています。

コーポレート・ソリューションズの実績、前年度の災害による悪影響を受ける
コーポレート・ソリューションズは、2019年第1四半期に5,500万米ドルの純損失を計上しました。この業績は、中規模から大規模な人災による損失、特に前年度の災害の影響を大きく受けています。コンバインド・レシオは116.3%に増加し、ROEは-12.1%でした。この事業部門は現在、すべての保険種目と準備金ポジションの包括的な見直しを行っています。

正味既経過保険料収入は12.3%増の10億米ドルとなっています。米国の一般賠償責任保険ポートフォリオの積極的な削減は、信用および財物保険の成長と料率上昇で適切に相殺されています。スイス・リーは、2019年第1四半期に料率が幅広く5%上昇したことを受けて、2019年中に企業保険の料率上昇が加速するという前向きな流れを期待しています。

ライフ・キャピタルの総キャッシュフローは3億米ドル

ライフ・キャピタルは、2019年第1四半期に3億米ドルの総キャッシュフローを計上しました。これには、2018年12月に発表され、2019年2月20日に完了したReAssure社のMS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社(MS&AD)へのさらなる売却分である10%持ち分の売却収入が含まれています。MS&ADのReAssure社に対する持ち分は合計25%になりました。

事業部門の純利益は英国市場における好調な投資成績に支えられて700万米ドルとなりましたが、オープンブック事業への継続的な投資によって相殺されています。

正味既経過保険料収入は、主に生命・医療再保険事業とのグループ内の再々保険契約の終了にけん引されて4億2,600万米ドルに増加しました。為替変動の影響を除いた総保険料収入を見ると、オープンブック事業は2019年第1四半期に前年比14%増という堅調な成長を達成しています。

スイス・リーは、2019年はReAssure社のクローズドブック事業の新規株式公開(IPO)を行う可能性を引き続き検討しています。¹以前にスイス・リーが発表し、MS&AD社によるReAssure社への投資で明らかになったとおり、クローズドブック事業のさらなる成長のために第三者資本を確保することは戦略の重要な一部となっています。

自己株式公開買付の第一ランシェを2019年5月6日に開始

スイス・リーは、取締役会と必要なすべての規制の承認を受けた後に、上限買付価格10億スイス・フランの自己株式公開買付の第一ランシェを2019年5月6日に開始する予定です。この買付措置は2019年4月17日の年次株主総会で承認されたものであり、余剰資本が発生した場合に株主に還元するというグループのポリシーとともに当社の資本管理の優先順位に基づくものです。

自己株式の公開買付の詳細については、以下のサイトをご参照ください。

www.swissre.com/investors/shares/share_buyback

今後の見通し

スイス・リー・グループの最高経営責任者であるクリスチャン・ムーメンターラーは次のように述べています。「今年度の更改の成功を踏まえれば、損害再保険事業の今後は依然として期待できるものであり、生命・医療再保険事業も好調を維持するものと考えております。ライフ・キャピタルは、2019年にはReAssure社のIPO準備に注力してまいります。コーポレート・ソリューションズについては、難しい状況がしばらく続くことが予想されますが、最近の業績不振に対する断固とした対策を講じています。これに伴い、新しくコーポレート・ソリューションズCEOに就任したアンドレアス・ベルガーの指揮の下、事業部門の徹底的な見直しを進めており、第2四半期には完了する見込みです。」

¹検討段階である ReAssure 社の IPO が確実に実行される保証はありません。また、この IPO に関する時期、条件、仕組み、IPO に伴うスイス・リーの持ち分を含むすべての詳細は確実なものではありません。本件は今後、時機に応じて発表してまいります。

第1四半期の主なデータ(2018年Q1 vs 2019年Q1)

		Q1 2018	Q1 2019
グループ連結 (総額)	正味既経過保険料 (百万米ドル)	8 316	8 775
	純利益(百万米ドル)	457	429
	株主資本利益率 (%、年率換算)	5.6	5.9
	投資収益率(%、年率換算)	2.2	4.5
	直接利回り(%、年率換算)	2.8	2.9
	普通株主資本(百万米ドル)	32 321	30 179
損害再保険	正味既経過保険料 (百万米ドル)	3 820	4 238
	純利益(百万米ドル)	345	13
	コンバインド・レシオ(%)	92.0	110.3
	株主資本利益率 (%、年率換算)	13.5	0.6
生命・医療再保険	正味既経過保険料 (百万米ドル)	3 287	3 091
	純利益(百万米ドル)	201	328
	直接利回り(%、年率換算)	3.3	3.4
	株主資本利益率 (%、年率換算)	11.5	19.6
コーポレート・ ソリューションズ	正味既経過保険料 (百万米ドル)	908	1 020
	純利益/損失(百万米ドル)	41	-55
	コンバインド・レシオ(%)	100.2	116.3
	株主資本利益率 (%、年率換算)	7.0	-12.1
ライフ・キャピタル	正味既経過保険料 (百万米ドル)	301	426
	純利益(百万米ドル)	3	7
	総キャッシュフロー (百万米ドル)	705	300
	株主資本利益率 (%、年率換算)	0.2	0.5

スイス・リーについて

スイス・リー・グループは世界のレジリエンス向上を目指し、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。自然災害および気候変動、また高齢化社会からサイバー犯罪に至るまで、さまざまなリスクの予想と管理を行っています。スイス・リー・グループの目標は、お客様のために新しい機会とソリューションを生み出し、社会のさらなる繁栄と発展を可能にすることです。1863年にスイスのチューリッヒで創業したスイス・リーは、世界約80拠点にて事業を展開しています。大きく3つの事業部門にわかれて運営を行い、それぞれの事業部門がグループ全体の理念に寄与する独立した戦略と目標を掲げています。